

プレバイミス®錠240mgを 服用される方へ

<臓器移植を受けた患者さん向け>



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

Q

プレバイミス®錠は どのようなお薬ですか？

A

プレバイミス®錠は、臓器移植を受けた患者さんが移植後合併症の1つであるサイトメガロウイルス(CMV)感染症の発症を抑制するために、CMVが活発化(再活性化)するのを予防するお薬です。

プレバイミス®錠の服用方法

**のむ量やのみ始めるタイミングは、
あなたの状態などにあわせて医師が決めます。**

移植後早期にのみ始め、のみ続ける期間については主治医の指示を守ってください。

**1日1回決められた量を
のんでください**



コップ1杯程度の水またはぬるま湯で
のんでください。



Q

プレバイミス®錠をのむ際の 注意事項は何ですか？

A プレバイミス®錠をのむ際は、以下のことにご注意ください。

- お薬は必ず、PTPシートから取り出して飲んでください。



- 自己判断で使用を中止したり、のむ量を変更したりしないでください。

のむ量を変えると、お薬の効果が得られないおそれがあります。主治医の指示どおりにのみ続けることが重要です。

- のみ忘れても、決して2回分を一度にのまないでください。

のみ忘れに気がついた時に、すぐに1回分をのんでください。ただし、次のお薬をのむ時間が近い場合は、1回とばして、次の時間に1回分のんでください。

昨日のみ忘れた分も
いっしょにのもう

- 誤って多くのんだ場合は
医師または薬剤師に相談してください。



- 主な副作用として、吐き気、下痢、嘔吐などが報告されています。このような症状に気づいたら、医師または薬剤師に相談してください。

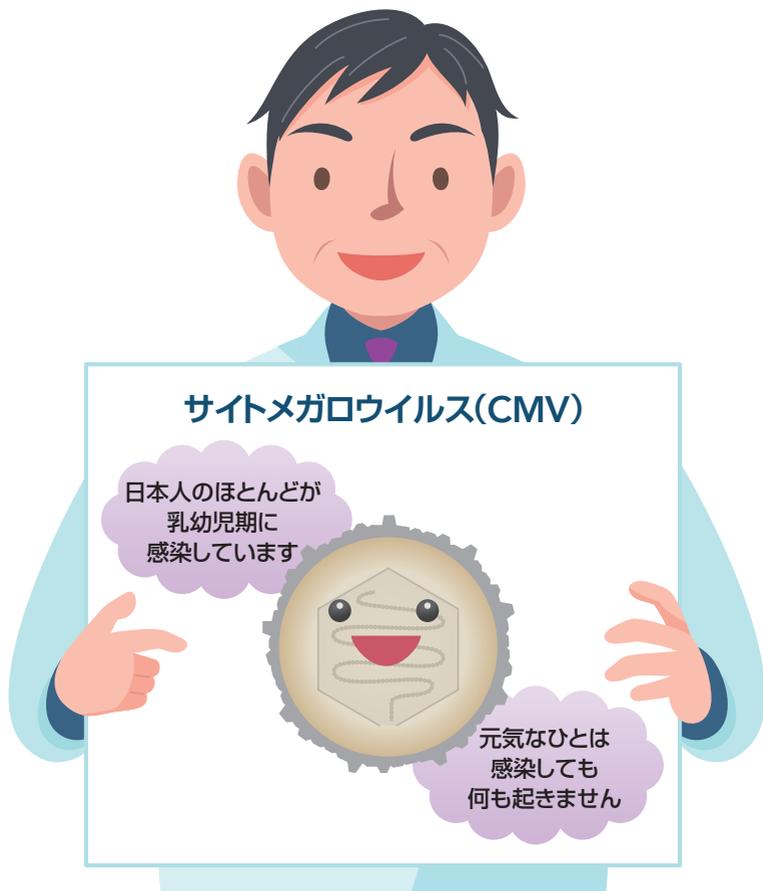
Q

サイトメガロウイルス(CMV)って どんなウイルスですか？

A

サイトメガロウイルス(CMV)はヘルペスウイルスの一種です。どこにでもいるウイルスで、日本人の60~90%¹⁾がいつのまにか感染しています(初感染)。感染しても、健康な状態では症状が出ないのが特徴です。

1)日本造血・免疫細胞療法学会・造血細胞移植ガイドライン-ウイルス感染症の予防と治療 サイトメガロウイルス感染症(第5版), 2022



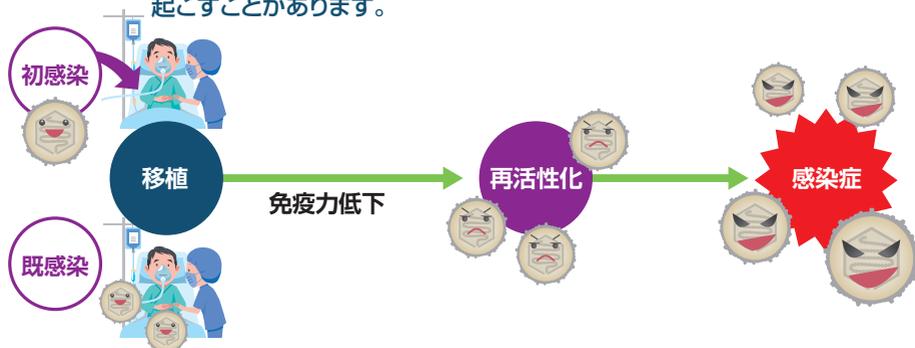
Q

CMVに感染すると どんな影響がありますか？

A

臓器移植では、移植される臓器がすでにCMVに感染している場合、これまでCMVに感染していなかった患者さんも感染してしまう可能性があります(初感染)。移植で体の免疫力が低下している状態では、CMVが活動を始め(再活性化)、何も治療せず放っておくと、感染症を引き起こし、さまざまな症状があらわれます。

また、移植前からCMVに感染していた患者さんも同様に、移植による免疫力の低下をきっかけにCMVが再活性化することで、感染症を引き起こすことがあります。



CMV感染症の症状

CMVはさまざまな臓器にあらわれるため、CMV感染症の症状は多彩です。発症時期は、移植後2～3ヵ月が多いといわれています。

主な症状

全身症状	発熱(38℃以上)・体がだるい・やる気がでない・ 関節痛・筋肉痛
肺	呼吸がしづらい
消化器	吐き気・腹痛・嘔吐・下痢・血便を含む肛門からの出血
眼	視力低下



Q

CMV感染症の発症を 予防する意義は何ですか？

A

CMV感染症は臓器移植後に発症する頻度が高いウイルス感染症の一つで、もらった臓器の機能に悪影響を与える可能性があります¹⁾。そのため、CMV感染症の発症を予防することが重要です。

1)日本移植学会 臓器移植関連CMV感染症診療ガイドライン策定委員会:
臓器移植関連CMV感染症診療ガイドライン, 2022



CMV感染症の発症を しっかり予防するためには お薬をきちんとのみ続ける ことが大切です



プレバイミス®錠は、臓器移植によりCMVに初感染した患者さんや、すでにCMVに感染していた患者さんのCMVの再活性化を予防することでCMV感染症の発症を抑制します。予防薬全般にいえることですが、症状を出さないことが役割なので、お薬をのむことで状態がよくなったり、何かの症状が治まるといったことがないため、お薬の効果がわかりにくいかもしれません。

だからといって、ご自身の判断でお薬をのむことを中断したり、のむ量を調節してしまうと、予防効果がきちんとあらわれなくなってしまいます。医師や薬剤師の指示をしっかりと守り、きちんとのみ続けてください。



**何か気になることがある場合は、
すぐに医師や薬剤師などの医療従事者に相談してください。**

次のような時はのみ始める前に 医師・薬剤師にご相談ください



重度の肝機能障害がある



お薬をのんで
アレルギー症状が出たことがある



妊娠している、または
妊娠している可能性がある



授乳中



ほかにもお薬をのんでいる

腎移植後の日常生活について詳しく解説した動画はこちら

MSD 感染症



腎移植後の日常生活で気をつけたい
ポイントについてご紹介(約7分)。

医療機関名